

かわそえ 議会だより



No.168

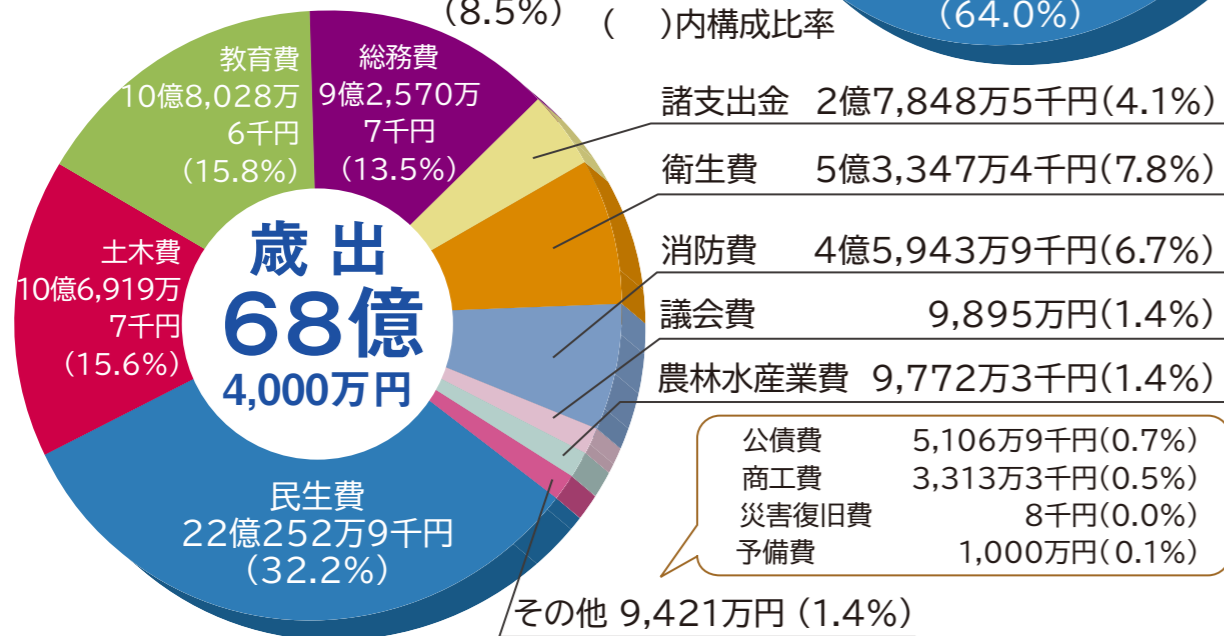
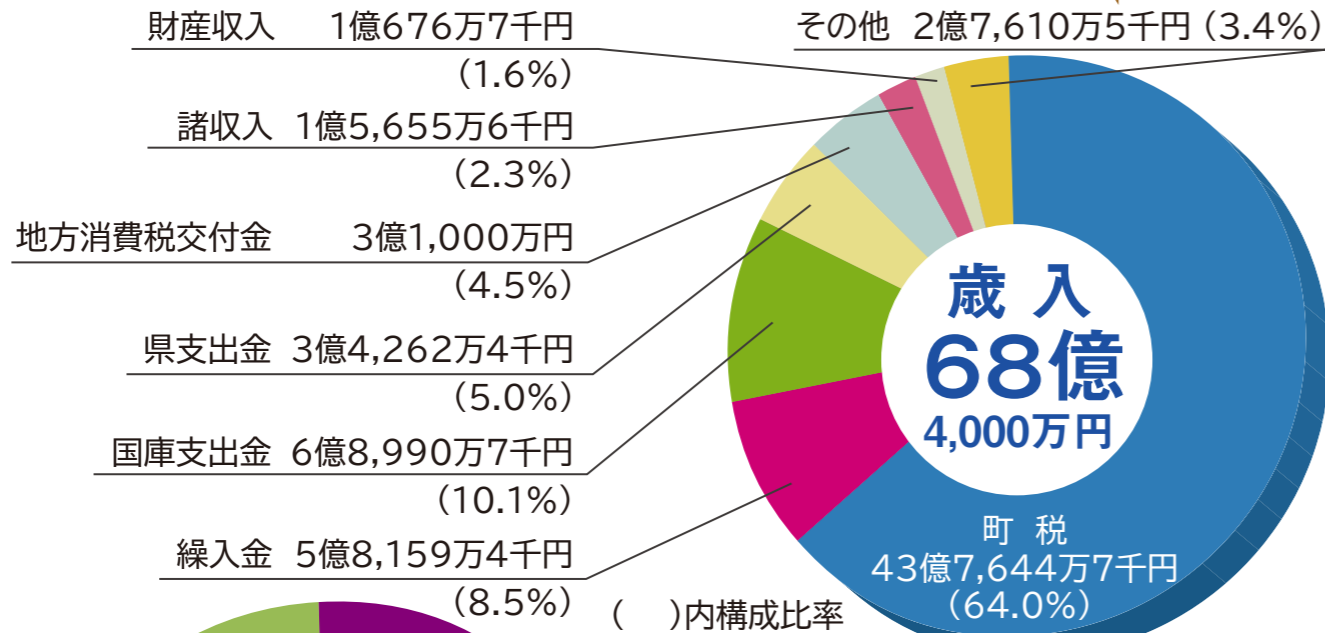
令和3年5月21発行
三重県川越町議会

令和3年3月定例会 令和3年5月臨時会

町長施政方針	2
令和3年度予算・Q&A	3~4
3月定例会あらまし・議決結果	5~6
3月補正・Q&A	7~8
一般質問	9~16
モニターの皆さまからのご意見	17
臨時会概要	18~19
まちの元気な人・町の話	20

令和3年度予算 決定!

地方譲与税	5,239万6千円(0.8%)	環境性能割交付金	621万6千円(0.1%)
分担金及び負担金	4,319万3千円(0.6%)	地方特例交付金	1,420万円(0.2%)
利子割交付金	250万円(0.0%)	地方交付税	500万円(0.1%)
配当割交付金	1,000万円(0.2%)	交通安全対策特別交付金	191万6千円(0.0%)
株式等譲渡所得割交付金	500万円(0.1%)	使用料及び手数料	3,348万2千円(0.5%)
法人事業税交付金	2,600万円(0.4%)	寄附金	120万1千円(0.0%)
自動車取得税交付金	1千円(0.0%)	繰越金	7,500万円(1.1%)



- 注目事業**
- 北部保育所避難施設建設事業 9,404万円
 - 津波避難施設建設事業 1億7,372万円
 - 公共施設無線LAN整備事業 1,522万円
 - あいあいホール等大規模改修事業 5,164万円
 - 郷土資料館解体撤去事業 2,639万円

城田町長 施政方針



当町は今年5月1日に町制施行60周年を迎え、「第7次川越町総合計画」がスタートし、10年後の「まちの将来像」をつなげる笑顔「ず〜っと暮らしたい町かわこえ」とし、その実現に向けた「まちづくり基本理念」として、

「笑顔がつながるまちづくり」
 「人と地域がつながるまちづくり」
 「未来につながるまちづくり」

3つの理念を掲げ、令和3年度の主な事業として新型コロナウイルス感染症対策事業でのワクチン接種事業や中小企業に対するセーフティネット保証料補助事業に優先かつ短期集中的に取り組みとともに、子ども医療費助成窓口無料化の拡充や、防災・減災対策として津波避難施設の整備、GIGAスクールに対応する小・中学校のICT環境整備事業、老朽化が進行しつつある地区公民館の改修に向けた老朽度調査と基本計画策定などに取り組みます。

第7次川越町総合計画において、重点的に取り組むこととしている5つの重点施策の方針に沿っての基本方針と主要事業。

(※施政方針の中の主要事業については、抜粋して掲載しております。)

重点施策1「暮らしを守る」
安全なまちづくりの推進
基本方針「安全で快適な暮らしができるまちづくり」

- ・防災・消防・救急
- ・亀須新田地区の津波避難施設建設に着手、避難場所に必要な備蓄品の整備。
- ・北部保育所避難施設の継続整備。
- ・「交通安全・防犯」
- ・防犯カメラの増設、第2期防犯カメラ設置実施設計事業の推進。
- ・犯罪被害に遭った被害者の支援を行うため、支援金制度の創設。
- ・「環境共生」
- ・ゴミの分別収集の徹底に努め、生ごみ等の堆肥化事業の拡充、リサイクルの推進。
- ・**重点施策2「途切れない子育てと学びの推進」**
暮らしができるまちづくり
基本方針「人を育み心豊かな暮らしができるまちづくり」
- ・子ども医療費現物給付の対象を義務教育終了まで拡大。

- ・学童保育事業では、より一層の充実を図るため、新たに1か所、民間事業者が整備するための支援。
- ・小学校と幼稚園の学校給食について、令和4年度から民間委託による調理を開始できるように準備。
- ・中学校の建て替え令和8年度の竣工に向け、整備方針の決定と設計業者の選考を行う。
- ・「学校教育」
- ・一人一台のタブレット端末の整備により、ICT教育を推進。
- ・「生涯学習」
- ・郷土資料館の撤去・解体後、水防活動用地として整備。
- ・あいあいホールの大規模改修を、令和3年度から2か年にわたり実施。
- ・**重点施策3「元気に活躍できる健康づくりの推進」**
基本方針「支え合いで安心な暮らしができるまちづくり」
保健・医療
- ・特定不妊治療費の所得制限を廃止。
- ・妊婦歯科健康診査事業を開始。
- ・「地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉」
- ・高齢者がいつまでも健康で、生きがいとなる就労や趣味の活動の場の確保に向けて、地域住民の方々やボランティア団体、社会福祉協議会と連携し、取り組む。
- ・農福連携による障害者等就労環境整備事業の推進。

- ・**重点施策4「多様な主体による地域活動の推進」**
基本方針「協働と信頼のまちづくり」
- ・「地域活動」
- ・地区公民館改修事業の推進。
- ・「広報・広聴」
- ・今年度から、三重テレビでもPRを行い、情報発信に努める。
- ・**重点施策5「スマート自治体の推進」**
基本方針「便利で活気ある暮らしができるまちづくり」
- ・スマートフォン等による様々な情報の収集や、災害時の情報収集手段を確保するため、公共施設公衆無線LAN整備事業を実施。
- ・「道路・交通」
- ・危険箇所への交通安全施設の整備、狭い道路の改善等を推進。
- ・ふれあいバスについては、利用者ニーズを踏まえた運行の検討とともに、新たな移動手段の導入検討。
- ・将来像を目指す過程において、「持続可能な開発目標・SDGs(エス・ディー・ジーズ)」の目標達成にも町として取り組んでいかなければなりません。町としても、町民の皆さんや企業の方々と「まちの未来」を共有し、パートナーシップによる協働のまちづくりを進め、総合計画に掲げる各施策を推進することにより、SDGs(エス・ディー・ジーズ)のゴールへと寄与する。

予算特別委員会 Q&A

Q 歳入全体に占める町税の割合は64%で、以前は69%と高いときもあったと思うが、下がってきた要因は何か。

A 固定資産税の償却資産の大規模分減収が大きな原因。

Q 亀須と北部保育所の避難施設にラップトイレは幾つ設置か。

A ラップトイレ※については、亀須の避難施設に1台、北部保育所にある避難施設に1台を予定。また、簡易トイレは、亀須の避難施設に3台、北部保育所に1台を予定。

※ラップトイレとは
排泄物を自動で袋に包んで、密封してくれる新しいポータブルトイレ。

Q 亀須の津波避難施設について、着工日と完成予定日はいつになるのか。

A 完成予定日については年度末を予定。着工については、契約が議案案件のため、6月議会に上程する予定。

Q 防犯灯のLED化は何%進んでいるのか。

A 全体の98.6%までLED化が進んでいる。

Q 地籍調査は、亀崎、上吉、南福崎地区だが、これは100%達成できそうか。

A 確定はできないが、補助金の付き具合によって、その範囲で最大限の事業をする。

Q 償却資産税の中で、総務大臣が配分する償却資産税というのがあるが、今年度、また昨年度は。

A 3年度分が16億4,937万3千円で2年度分が16億8,122万4千円。

Q 学童保育事業が、現在の5か所から今度6か所になる。1か所増えるだけで1,200万円予算が増えているが、1か所だけでかかるのか。

A 1か所ですぐのぐらいの金額は支出している。

Q 1か所増える事業所の運営母体はどこか。

A 川越町で既に学童保育所を運営している社会

福祉法人が1か所立ち上げる予定。

Q AEDが18台に増えたが、どこにあるか。

A 今回北小学校、南小学校、中学校の体育館が増えて15台から18台になった。

Q 川越中学校の整備基本構想検討等委員会のメンバーは。

A 委員の構成メンバーは、行政側、学校側、PTA代表等を中心に、調整したい。報奨金19万6千円の予算は、PTA代表の4人分を計上。

Q 川越中学校の整備基本構想検討等委員会のこれからのタイムスケジュールは。

A 令和3年度に基本構想、令和4年度に基本設計等、令和5年度に実施設計、令和6年度に仮設校舎の建設、令和8年度に竣工、令和9年から新校舎に入れる予定。

Q 建設場所はどうか考えているか。

A 予定では、旧役場跡地に仮設校舎を建て、その

間に、今の場所を壊して建て直し、また戻る予定を考えている。

Q 学校給食センターの民間委託で、令和3年度に給食センターの業者選考委員会を立ち上げ、令和4年度から、民間委託するとして、管理は当町で行うのか。

A スケジュールは、令和3年度5月頃の給食センター運営委員会の内容を周知する。6月に川越町学校給食調理業務委託業者選考委員会を行い、選考基準や、募集要項の確定。7月に募集要項を公表し、8月に質問を受け付け回答する。9月に選考委員会を開催。1次審査は書類審査、2次審査でプレゼンを考えている。10月に結果を発表し、11月に契約。その後、準備に入り、業務を令和4年4月からというようなスケジュールを今のところ考えている。委託の内容は、調理業務の委託。職員は優先的に今働いている調理員の方に声をかけていただく。管理は町で行う。

Q あいあいホール自主事業の関係で、具体的にいつ頃からやるか見通しは立っているのか。

A 自主事業は安全対策をしつかり取りながらと考えており、今現状において、国・県からのガイドラインが出ており、7月ぐらいからできれば始めていきたい。

Q ひとり暮らしの高齢者緊急通報装置とは。

A セコムへの委託事業となっており、ボタンを押すとセコムにつながるサービスになっている。

Q 水道料金を改定していく予定と聞いているが、今のこの状況でどのような考えか。

A 料金改定については、現在、町の水道会計が料金収入で赤字になっているというところをまず解消したいが、コロナの変異株とか感染拡大等々のいろんな話がある中で、状況を見極めて慎重に検討していく。

第1回 3月定例会

令和3年第1回定例会は、3月3日から16日までの14日間の会期で行われた。初日は、7人の議員が町長、教育長に対して一般質問を行い、続いて町長より議案24件の提案があり、審議後、3件を原案可決、承認した。議案21件は、各委員会に付託され、審査することとなった。最終日には、各委員会に付託された案件を全て原案可決した。

議案のあらまし(全会一致)・議決結果

※付託先欄 総…総務建設常任委員会 教…教育民生常任委員会 予…予算特別委員会 即…本会議即決

区分	議案番号	議案名 あらまし	付託先	議決結果
令和3年度予算	議案第9号	国民健康保険特別会計予算 事業勘定の予算総額は11億1,470万円。 診療施設勘定の予算総額は1億3,750万円。	予	可決
	議案第10号	介護保険特別会計予算 予算総額は8億1,240万円。	予	可決
	議案第11号	後期高齢者医療特別会計予算 予算総額は1億6,870万円。	予	可決
	議案第12号	公共下水道事業特別会計予算 予算総額は9億5,390万円。	予	可決
	議案第13号	水道事業会計予算	予	可決
令和2年度補正予算	議案第3号	一般会計補正予算(第7号) 4億7,187万1千円を追加し、予算総額を89億5,905万7千円とする。	総 教	可決
	議案第4号	国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 事業勘定において1億1,651万円を減額し、予算総額を11億7,677万1千円とする。 診療施設勘定において19万8千円を減額し、予算総額を1億4,504万3千円とする。	教	可決
	議案第5号	介護保険特別会計補正予算(第3号) 364万1千円を減額し、予算総額を8億4,657万9千円とする。	教	可決
	議案第6号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 613万8千円を追加し、予算総額を1億7,458万1千円とする。	教	可決
	議案第7号	公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 1,391万3千円を減額し、予算総額を9億5,785万円とする。	教	可決
その他	議案第1号	専決処分について(令和2年度川越町一般会計補正予算(第6号)) 新型コロナウイルスワクチンの接種に必要な体制を確保・整備するため80万2千円を追加し、予算総額を84億8,718万6千円とする専決処分の承認を求めるもの。	即	承認
	議案第2号	工事請負契約の変更について 「町道南福崎豊田一色線道路改良工事」の変更で、契約金額を214万9,400円増額する。	即	可決
	議案第24号	川越町道の路線の認定について 北福崎地区において、町道当新田中央線と北福崎5号線を結ぶ道路が宅地分譲による開発行為で設置され、当町へ帰属されたことにより、町道として新たに認定を行うもの。	即	可決

3月補正予算の概要

第1回定例会における、一般会計及び特別会計補正予算の主な内容は下記のとおりです。

会計種別	補正金額	主な事業内容		
一般会計 (第7号)	4億7,187万1千円	人件費	△4,873万8千円	
		各種検診委託料	△1,020万7千円	
		三重県新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金(負担金)	△520万8千円	
		中小企業等持続化給付金	△4,460万円	
		美し国三重市町対抗駅伝実行委員会委託料	△116万8千円	
		各種基金への積立金	7億7,572万3千円	
		その他、 事業の精査、 実績等による	議会費	△775万6千円
			総務費	△5,278万1千円
			民生費	△3,325万4千円
			衛生費	△992万1千円
農林水産業費	△408万1千円			
商工費	△595万9千円			
土木費	△2,293万1千円			
消防費	△1,450万9千円			
教育費	△4,273万9千円			
国民健康保険 特別会計 (第4号)	△1億1,651万円	人件費	△139万6千円	
		事業の精査、実績等によるもの	△1億1,511万4千円	
介護保険事業 特別会計 (第3号)	△364万1千円	人件費	△49万2千円	
		事業の精査、実績等によるもの	△314万9千円	
後期高齢者医療 特別会計 (第2号)	613万8千円	保険料収入増に伴う、後期高齢者 広域連合納付金の増額	△49万2千円	
		事業の精査、実績等によるもの	△314万9千円	
公共下水道事業 特別会計 (第3号)	△1,391万3千円	人件費	△49万2千円	
		事業の精査、実績等によるもの	△314万9千円	

区分	議案番号	議案名	付託先	議決結果
条例改正等	議案第14号	川越町犯罪被害者等支援条例の制定について 被害にあわれた方やそのご遺族の方々などが受けた被害の早期回復、軽減及び犯罪被害者等の生活の再建に対する支援を行うとともに、犯罪被害者等を支える社会の形成を促進することを目的に制定するもの。	教	可決
	議案第15号	川越町を美しくする条例の一部改正について 規程している文言等を現状に即した表現に改正するとともに、不法投棄及び悪質なケースについての公表内容を新たに規定するもの。	教	可決
	議案第16号	川越町国民健康保険条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	教	可決
	議案第17号	川越町国民健康保険税条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	教	可決
	議案第18号	川越町介護保険条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	教	可決
	議案第19号	川越町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	教	可決
	議案第20号	川越町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	教	可決
	議案第21号	川越町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	教	可決
	議案第22号	川越町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	教	可決
	議案第23号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済的な支援のための水道料金の特別措置に関する条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	総	可決
報告	報告第1号	例月出納検査の結果報告について 一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・公共下水道事業特別会計・水道事業会計 令和2年11月分・12月分・令和3年1月分。	—	—
	報告第2号	定期監査の結果報告について	—	—
	報告第3号	議員派遣の報告について ○三重郡議会議長会正副議長研修	—	—

議案のあらまし(賛否が分かれた案件)・議決結果

○…賛成 ●…反対 ※議長のため採決に加わらない

区分	議案番号	議案名	付託先	早川茂樹	早川光男	杉本雅照	森英郎	片山庄平	松岡正敬	寺本由美	柳川平和	伊藤勝也	安藤邦晃	山下裕矢	寺本清春	議決結果
令和3年度予算	議案第8号	一般会計予算 予算総額は68億4,000万円。	予	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	※	可決

反対の理由

複合施設建設費という科目を予算書から削除するということは、多額の経費を使った複合施設建設事業の風化にもつながる。また、図書費は、図書室設立当時の金額に戻したというが、平成27年、28年は400万円。以来毎年減額されて来年度は220万円。図書室の増床をせずに図書費を減額するというのは、町民の生涯学習の多様な読書の機会を減少させるという住民サービスの低下であると思う。よって私は令和3年度予算に反対する。

常任委員会

Q&A

◆ 総務建設常任委員会
◎ 令和2年度川越町一般会計補正予算(第7号)の所管事項

Q 自動車への後付け安全運転支援装置の補助金で、200件の予算が15件と少なすぎるが、PRの方法は。

A 啓発としては広報3回、各戸回覧2回、HP掲載、行政番組でも紹介し、制度開始にあたり各ディーラーもまわって説明をした。町内の整備工場についても件ずつ回り制度開始の周知をしている。結果は残念なものであるが、今後の周知については、広報、回覧をしながら、場合によってはディーラーや整備工場を回ることも考える。大手自動車部品の量販店も回っており申請は出てきているが件数は伸びていない。

Q 装置の安全性がどれくらいかというのが目で見てみないとわからない。自動車学校などで実験し、目に見えることをやってみてはどうか。

A 自動車学校でも計画をしていたが、コロナウィルスの関係で開催できなかった。単独では難しいので、ディーラー等で協力の話があれば積極的に進めていきたい。



<< 次ページへ続く >>

常任委員会 Q&A 続き

Q 木造住宅補強の予算が毎年減額となっているが、設計して工事費が出て、補助上限との差額が多くて着手が進まないと思うが、補助率の見直しについては考えていないのか。

A 現在は町独自で15万円の上乗せをしており、県下でもベスト3に入る補助をしている。特に今年はコロナの関係で少なくなっており、今後も普及啓発を実施していく。

Q 子ども広場の改良工事は、どのような工事を行ったのか。

A 天神子ども広場については東側フェンスの嵩上げ、豊田地区子ども広場については入り口にバリカー※を設置した。

※バリカーとは
自動車の進入・衝突防止や歩行者の通路制限や安全確保のために使用される設備のこと。バリケード+カーの造語と言われている。

◆ 教育民生常任委員会
令和2年度川越町一般会計補正予算(第7号)の所管事項

Q 会計年度任用職員の給与の1,863万9千円減、特に保育士と幼稚園の教職員の減額が非常に大きい。その内容は、またコロナとの関係は。

A 採用については、実質コロナとの関係で減っているわけではない。幼稚園は、当初、3歳児のクラスを3クラス編制で考えていたが、2クラスの編制ができたので、職員数が減になり当初予算から減額。保育士については、当初、保育士のほうが31名、保育士が必要という形で募集をかけていたが、採用できずに15名減となった。その分については、パートタイムの職員を増員し、また、派遣職員を増員し、また、機児童が出ないような形で保育している。

Q コロナのときに、任用職員を休ませたということは実績としてあるのか。

A 学校が休みになり、家庭等で子供を見る方がなく仕事を休む場合は、国からの通達に基づき特別休暇で対応した。

Q 産後ケアの訪問事業だが、出産後、悩んでいる方が多いと聞くので、最初から予算として組んで、もっと件数を増やしたほうがいい事業かと思うが。

A 産後ケアは、需要も増えてきている。令和3年度は、少し件数を多くして、受けられるサービスの内容を少し充実させ、予算計上をしている。



Q 基礎学力充実教員加配講師の費用が、241万6千円減となったが、対応はできたのか。

A 当初の見込以上に、県の加配がついたため、基礎学力充実講師を減らしたわけではなく、県費で確保できた分、町費の減となった。

※基礎学力充実教員加配講師とは
学習面での基礎・基本の徹底、学習習慣の確立を支援するために、きめ細かい指導を可能とするための非常勤講師で、令和2年度は小中学校に12人配置しました。



令和2年度川越町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

Q ハルスアップ事業の内容は。

A ハルスアップ事業は、健康推進課で行っている糖尿病の重症化予防の事業、特定健康診査の受診勧奨を行っている事業等。

◆ 審査の内容及び結果
各委員会に付託された案件は、慎重審査を行い、全てを原案のとおり可決すべきものと決した。



3月定例会 一般質問

※ 一般質問とは…町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告・説明を求め町政運営が適切かチェックするもの

7人の議員 ここが聞きたい

- 安藤 邦晃 議員 ……10
・町としてSDGs(持続可能な開発目標)の推進、取り組みは
- 山下 裕矢 議員 ……11
・コロナ禍における町単独の補助事業延長の考えは
・事故が絶えない町内道路交差点の安全対策は
- 早川 茂樹 議員 ……12
・新婚カップルが当町に新居を構えてもらうための施策は
- 柳川 平和 議員 ……13
・図書室は住民サービスの場になっているか
- 寺本 由美 議員 ……14
・障害者等就労を目指す農福連携の今後は
・ボランティア拠点施設の整備は
- 松岡 正敬 議員 ……15
・コロナ禍が長期化する中で、生活福祉資金の利用状況は
・コロナ禍における住まいの確保・居住支援の強化は
・低所得者のひとり親家庭への支援強化は
- 片山 庄平 議員 ……16
・災害等断水時における飲料水、生活水(水洗トイレ)の確保は、対応策は
・貯水機能付給水管装置に補助金制度等設けては

町としてSDGs(持続可能な開発目標)の推進、取り組みは

SDGsの趣旨を理解し、行動できるよう情報発信と啓発に取り組む(町長)



安藤 邦晃 議員

問 政府のSDGs※推進本部では、各自治体に対しても積極的なSDGsへの取り組みを奨励しているが、当町としてSDGsの推進と取り組みの現状は。

町長

答 持続可能な社会を目指したSDGsの理念に沿って取り組みを進めることが、地方創生に資することから、SDGsを原動力とした地方創生の取り組みを推進している。このような取り組みを進めることにより、経済・社会・環境の三側面にわたって地域課題の解決の相乗効果が期待でき、地方創生の取り組みの一層の充実と深化に繋げることができると考えている。そのため、町の取り組みとしては、第7次川越町総合計画の「社会環境の変化とまちの展望」においてSDGsの推進を掲げ目標達成に向け行



SDGsカラーホイール

再 町民にSDGsに関する認識を深めてもらうため、総合計画の基本施策や単位施策の冒頭に17のゴールを示すアイコンを掲載している。

企画情報課長

答 SDGsの17のアイコンとその内容を掲載するとともに、総合計画の施策が17の目標の達成に繋がっていることを示す一覧表を資料編に掲載する。

政はじめ民間企業者、町民が、SDGsの趣旨を理解し、行動できるよう情報発信と啓発に取り組む。

再 「広報かわごえ」にもアイコンを採用している。

企画情報課長

答 広報誌は内面が2色刷りのため、どのような形で掲載できるか検討したい。

再 ある調査で、SDGsに関心が低い自治体が多いという調査結果が報告されているが、当町の職員の認知度は。

企画情報課長

答 認知度は高いものと考えている。より一層SDGsの理解を深め、目標達成に向けての意識を高めるため、内閣府によるセミナーの受講を計画している。

※SDGsとは
2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択され、17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。



国が作成したパンフレット表紙



山下 裕矢 議員

コロナ禍における町単独の補助事業延長の考えは

現在それぞれの事業で設定している期間をもって終了と考える(町長)

町長

答 現在は、コロナにより大きく影響を受けた方に対して補助する考えであることから、「水道基本料金0円の特例措置」については、1年間をもって終了したいと考えている。

問 水道基本料金が無料の期間が延長され1年間となったが今後の考えは。

町長

答 3年4月2日以降出生の新生児に対しての延長は今のところ考えていない。

問 他の事業についての考えは。

町長

答 他の町独自の補助事業等の支援策としては、「子育て世帯及びひとり親世帯応援給付事業」、「社会福祉施設等支援給付金事業」、「就学援助の拡充として、臨時休校中の給食費支給事業」、「中小企業等経営持続化給付金事業」、「中小企業支援セーフティーネット保証料補助事業」などで、これらについても、各事業で設定している期間をもって一旦は事業の終了と考える。

問 昨年度からの補助で一人一律10万円の補助があったが、今後町単独で一人一律いくらかといった補助の考えは。

町長

答 令和3年1月に発令された「緊急事態宣言」(第2回目)時においては、社会経済への影響が、少なくなるような諸施策の実施がされており、支援を必要な方への支援に変わってきていることから、町民皆様への一律の支援金についても、今のところ考えていない。

再 今後、コロナ等の大きな課題が出てくると思われるが、今後考えられていることは。

事故が絶えない町内道路交差点の安全対策は

運転者の安全意識の啓発とともに交通環境の確保に努める(町長)

問 スーパーサンシ・カインズ前といった大型店舗前の道路の交差点等において今だに事故が多発している。交差点内のカラー舗装だけ

ではなく、交差点手前に目立つような塗装・看板等設置するといったような安全対策は考えているか。

町長

答 店舗周辺の交差点には「止まれ」の道路標識や、「停止線」、「横断歩道」などの路面標示が県公安委員会により設置され、町としても、店舗周辺の交差点の必要な箇所、カラー舗装やカーブミラーを設置(町内全体で過去3年間に、カラー舗装を23カ所、カーブミラーを23カ所整備)停止線予告や減速路面標示、交差点注意の道路標示や看板設置を行うなど、交通安全対策に努め、今後も道路交通の状況に注視しながら、運転者の安全意識の啓発に努めるとともに、安全な交通環境の確保につとめる。

図書室は住民サービスの場になっているか

誰もが本に親しむ機会を提供する場所になっている(教育長)



柳川 平和 議員

問 図書室(館)は知的生産の原点の場であるが、当町の図書室はその役割を担っているか何う。

答 蔵書数、閉架図書数、閉架図書数は。

問 閉架書庫に入れる基準は。

答 令和元年度末において、蔵書数は6万1千385冊、閉架図書数は3万3千724冊、閉架図書数は、2万7千661冊。

問 教育長

答 一般図書は受け入れ後5年、児童書は5年から10年、法律や経済、医学または自然科学関係などについては、法律改正や新事実の発見、または社会状況の変化や新版発行など、情報が古くなれば5年より前に閉架書庫に移動することがある。一方

再 平成27年9月議会で閉架書庫を聞いた時に1か所は機械室という回答だった。場所はどこか。

答 生涯学習課長

答 あいあいホール2階の回廊の端っこの1部分を倉庫にしている。5千79冊はその倉庫に入っている。

問 閉架書庫はどこに何か所あるのか。

答 町長

答 図書室内の閉架書庫に2万753冊、図書室以外の閉架書庫として2階の倉庫に2か所、1千829冊、5千79冊ある。

で定番や人気作家の本あるいは人気作品については古くても閉架のままにしている。



早川 茂樹 議員

新婚カップルが当町に新居を構えてもらうための施策は

子育てに関する施策維持・強化が人口の維持につながるものとする(町長)

問 今のところ、当町は近隣市町と比較しても、人口は増加傾向である。しかしながら、今後を考えると当町でも高齢化率は上昇し、2040年以降は人口も減少傾向に転じるというデータもある。そのため、今から人口を維持していく対策を行う必要があると考える。そこで、住み・産み・育てるという生活のプロセスの中でも、人口維持に特に重要なことは、「まずは住んでもらう」という「移住」であり、そのために何を行うかを考えるが、まずは、直近3年の婚姻件数は。

答 町長

平成30年が104件、令和元年が107件、令和2年が90件。

問 令和3年度より結婚新生活支援事業補助金の条件が緩和され、更に利用者にはメリットが増えて使いやすくなるが活用する考えは。

答 町長

答 子育てに関する施策維持・強化が人口の維持につながるものと考え、現時点では活用の考えはない。

問 結婚を祝福するための施策は拡がりを見せている。例えば、婚姻届を提出する9割のカップルが記念撮影をするということから、記念撮影コーナーの設置や撮影パネルを用意したり、オリジナル婚姻届の作成するというような、当町独自の取り組みの考えは。

答 町長

他市町の利用状況を参考としながら検討していく。

再 若者が結婚に踏み切れない理由として結婚資金が原因と回答された方が、男性43.3%、女性41.9%となっており、更に結婚を希望する人に対して行政に実施してほしい取り組みについては、結婚や住宅に対する資金貸与、補助支援を上げた方が42.3%にもなる。第7次総合計画の将来人口に関して「移住定住の促進」と書かれている。私は結婚を支援することが移住定住の促進につながるかと考えるが、結婚新生活支援事業補助金を活用する考えはないとのことだが、それに替わる別の施策は考えているのか。

再 平成27年第3回定例会で複合施設が完成するまで図書室は現状のままかという私の質問に対して当時の稲田教育長の回答は、現状のままだが、(複合施設の時期がどうなるかによって)検討する必要があるということだった。その当時の副町長であった現城田町長は、閉架書庫に本がたくさんあるようなので、今後検討していきたいという回答だった。どのような形で検討されてきたのか。

答 生涯学習課長

改修にかかる経費や施設の利用状況を検討した結果、さらにもっと進めて検討していくということになった。検討は生涯学習課、教育長はじめいろんな方に相談している。今後、引き続き検討しながら考えていきたい。

再 町長の施政方針演説の中に「未来につながる町」という言葉が入っていたが、それを表現するには文化レベルを上げる、文化施設を整えることが重要ではないか。

答 教育長

ハード面では前に進んでいない状況だが、ソフト面において当町の文化の発展のため、読書を進めていきたい。



総合センター2階にある外の閉架書庫



撮影パネルの例「特設ブース」(愛知県刈谷市)



撮影パネルの例「お祝いメモリアルボード」(愛知県刈谷市)

答 企画情報課長

子育て支援サービスの充実に取り組みることにより定住につながっていきたく考えている。

コロナ禍が長期化する中で、生活福祉資金の利用状況は

緊急小口資金の利用者は84人、総合支援資金の利用者は12人(町長)



松岡 政敬 議員

答 町長 緊急小口資金の利用者は84人。総合支援資金の利用者は12人。相談体制は2名で行っている。1名は社会福祉士・介護福祉士・ケアマネージャー・ヘルパー3級の4つの有資格者、もう1名は社会福祉士。ケアマネージャーの資格の有資格者で相談者の状況に合わせた最も適切な支援内容をコーディネートできる体制を整えている。

問 コロナ禍が長期化する中で新型コロナウイルス感染症拡大の影響で収入が減少した人を対象とする生活福祉資金(緊急小口資金、総合支援資金)の利用状況と相談体制は。

コロナ禍における住まいの確保・居住支援の強化は

三重県社会福祉協議会が実施している自立相談支援事業のなかに住居確保給付金制度がある(町長)

答 町長 三重県社会福祉協議会が実施している自立相談支援事業の中に住居確保給付金制度がある。この制度は一定期間家賃相当額の支給が受けられる。住まいを失った方には生活困窮者自立支援制度の一時生活支援にて一定期間衣食住の日常生活に必要な支援が受けられる。また、困窮の程度に応じて生活保護の相談に繋ぐ場合もある。町としてはこれらの支援があるため家賃補助等の生活支援は考えていない。

問 新型コロナウイルス感染症の影響により失業等で住居を失う恐れのある方に家賃補助等の生活支援を行っているかどうか。

低所得者のひとり親家庭への支援強化は

町独自の給付金事業として上乗せして、すでに支給を終えている(町長)

答 町長 緊急経済対策として子育て世帯に対し、町独自の給付金事業として、児童手当支給対象者の子ども1人につき1万円を支給を、子育てと仕事をひとりで担うひとり親家庭の子育て負担の増加に対する支援として、さらに2万円を上乗せして支給を終えている。ひとり親家庭の厳しい状況を踏まえ適切な支援が受けられるよう関係機関に繋いでいく。

問 低所得のひとり親家庭への支援強化。コロナ禍の中厳しい状況にあるひとり親家庭に対する給付金支給など、中長期的な自立につながるよう就業支援、居住支援など総合的な支援が必要と思われるが、どのような支援ができるか。

障害者等就労を目指す農福連携の今後は

公的な事業を実施できる主体を公正に選定していく(町長)



寺本 由美 議員

答 町長 令和3年度も引き続き株数も

問 試行的栽培の販売方法は。 **答** 町長 町内にあるA所有の育苗ハウスの一部を借りて、試験的にミニトマト栽培を行っている。令和元年度には夏場に25鉢試行的栽培を行い、育成状況を観察し課題を抽出。令和2年度は秋から春の寒い時期に127鉢を栽培し、作業環境や問題点を抽出して今後の改善につなごうとしている。

問 川越町障害者等就労環境整備事業が進み、ミニトマトの試行的栽培が行われている。事業の状況は。 **答** 町長 増やし試行的栽培を行い、施設の整備等に向けて進めたい。販売方法は、安定的な収穫が見込めないため予約による購入が現状。

答 町長 全員が体調観察や体温測定・手指の消毒、マスク着用し感染防止に努めている。作業では収穫者に指導員がつくが、出荷用

問 コロナ禍で気を付けていることは。 **答** 町長 育苗ハウスでの収穫やパック詰め作業などを、町内2ヶ所のB型(※)事業所通所者が施設外就労として手伝っている。

答 町長 障害者就労支援事業所の立ち上げや企業と連携して事業拡大を考えているのか。

問 障害者就労支援事業所の立ち上げや企業と連携して事業拡大を考えているのか。

パックに貼るシール切りなどは離れた場所でも密にならないように感染防止対策を実施。

答 町長 試行的栽培にことぶき人材センター会員が施設管理を行っている。今後も高齢者等の就労機会を含め町民の方々に関わ

問 生涯現役社会を目指して高齢者等の就労機会の場の提供は。

答 町長 障害者就労支援事業所の立ち上げや企業と連携して事業拡大を考えているのか。

問 障害者就労支援事業所の立ち上げや企業と連携して事業拡大を考えているのか。

※B型とは 就労継続支援B型の事で、通常の事業所に雇用されることが困難な就労経験のある方などに対し、生産活動などの機会の提供、知識及び能力の向上のための訓練を行うサービス。

ボランティア拠点施設の整備は

場所を移転し施設整備を進めていく(町長)



答 町長 場所を移転し施設の整備を進めていく。候補地の選定も含め土地等鑑定料を令和3年度予算に上程。

問 施設の老朽化が進み、修繕の必要箇所が増えていく。立地場所や駐車スペースも課題。活動拠点となる施設の整備は進んでいるのか。

※B型とは 就労継続支援B型の事で、通常の事業所に雇用されることが困難な就労経験のある方などに対し、生産活動などの機会の提供、知識及び能力の向上のための訓練を行うサービス。

モニターの皆さまからのご意見

私たち住民にとって必要であったり大切な情報がたくさん載っていますが、どうしても「広報かわごえ」より堅かったり難しそうな印象を受けてしまうのでとてももったいないと思います。モニターになって初めてしっかりと読むようになりました。皆さんが思わず紙をめくりたくなるようなレイアウトなど工夫していけると、より良い情報誌になっていくのではないかと思います。

こえ コエ / KOE

Q&Aの質問の文字が見にくい、背景にうすくオレンジ色にして文字は黒色の方が読みやすいのではないのでしょうか。文字の大きさは良いと思います。

(町の元気な人について)町内でまだまだたくさん活動されている方々のご紹介を引き続きお願いいたします。

表紙の写真ですが、一度町民の方に募集されてみてはいかがでしょうか？

私達モニターの意見に耳を傾けて頂き、議会だよりの1ページを使って町民の方々に活動報告や調査の結果を示していただいているので私は大変うれしく思っています。引き続きこれからもこのような取組みの継続、お願いします。

モニターをするようになってから、議会だよりをしっかり読むようになりました。正直おもしろいとまでは思いませんが、このページは読んでおいた方がいいなと思うページが出来ました。

子ども家庭課が新設されることを知らない人も多いと思います。業務内容とともに周知できる取組みがあればと思います。

広報かわごえ3月号をご参照ください。



片山 庄平 議員

災害等断水時における飲料水、生活水(水洗トイレ)の確保は、対応対策は

町民49日分の飲料水確保、非常備蓄品の準備につき周知啓発に努める(町長)

問 発災直後より数日間が非常に重要とされている。様々な状況の中確保されている飲料水をどの様な方法で給水するのか。

答 上下水道課長 町の保有する給水タンク及び応援協定による給水車を利用。配水場では給水袋による配布。今後他の事例等参考に給水方法を検討していく。

答 町長 朝明配水場のタンク1,000t、埋縄配水場のタンク1,125t、南北小学校緊急貯水槽各60t、合計2,245t、一人3ℓの必要飲料水使用計算で当町人口割で49日間の飲料水確保。

問 飲料水の保有水量は。

問 生活水(水洗トイレ)の利用について下水道管が利用できる場合、出来ない場合、どのような対応対策を考えているか。

答 町長 利用できる場合、自助の一例として風呂の水を貯めて頂き利用に心掛けて頂きたい。利用出来ない場合、自助として各家庭で携帯トイレ、簡易トイレを準備して頂きたい。又、災害時に必要な非常備蓄品の準備について周知啓発に努める。

再 水道の復旧については日本水道協会の支援を受けるとの事だが下水道の復旧についての対策は。

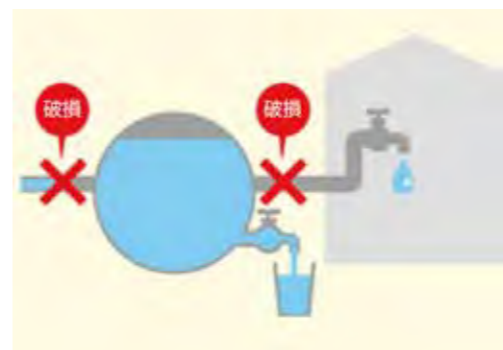
答 上下水道課長 水道と同様応急復旧のための必要な業務を支援して頂き早期復旧を行う。

貯水機能付給水管装置に補助金制度等設けては

補助金制度は考えていないが今後は普及状況や周辺市町の状況を注視(町長)

問 発災直後から始まる飲料水不足、発災から数日間が最重要視される中、又一回目の質問も鑑みて、貯水機能付き給水管装置(120ℓ)があり4人家族で3日間(生活水を含む)飲料水確保が家庭内で出来る補助金制度等設ける事は出来ないか。

答 町長 補助金制度は考えていないが、今後貯水機能付き給水管装置の普及状況や周辺市町の状況等も注視していきたい。



第1回臨時会 議会役員を選出

第1回臨時会が5月7日に行われた。
投票の結果、議長に寺本清春議員、副議長に山下裕矢議員をそれぞれ選出した。
その後、監査委員、各常任委員、議会運営委員、議会広報特別委員、一部事務組合議員等を選出した。
また、議案3件、発議3件を審議し、全てを原案可決した。

就任のあいさつ

このたびの臨時会におきまして、私たちは、町議会の議長、副議長の要職に就任いたしました。身に余る光栄であり、その重責を痛感いたしております。
また、監査委員・各委員会の構成・部事務組合議会議員なども決まり、新体制がスタートしました。
私たちは、町民の皆さまの代表として、議会の使命である行政のチェック機能として、健全な行政運営の推進に努め、一層の信頼を得られるよう、議会運営を行い、職務の遂行に全力でまい進する所存です。
今後も二層のご支援ご鞭撻を切にお願い申し上げます。



寺本 清春 議長



山下 裕矢 副議長



監査委員
松岡 正敬 議員

議案等のあらまし (5月臨時会)

議案

- ◎ 専決処分について(川越町税条例等の一部改正)
準用する法律の改正に伴い関係条例の改正を行うもの。
- ◎ 川越町税条例の一部改正について
準用する法律の改正に伴い関係条例の改正を行うもの。
- ◎ 監査委員の選任について

第1回臨時会での議決結果

全会一致の案件

件名	結果
専決処分について(川越町税条例等の一部改正) 準用する法律の改正に伴い関係条例の改正を行うもの。	承認
川越町税条例の一部改正について 準用する法律の改正に伴い関係条例の改正を行うもの。	可決
監査委員の選任について	同意

各委員会の構成

総務建設常任委員会



片山 庄平 委員長
早川 茂樹 副委員長
寺本 由美 委員
伊藤 勝也 委員
安藤 邦晃 委員
山下 裕矢 委員

教育民生常任委員会



杉本 雅照 委員長
柳川 平和 副委員長
早川 光男 委員
森 英郎 委員
松岡 正敬 委員
寺本 清春 委員

議会議員職務分担表

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	早川 茂樹	早川 光男	杉本 雅照	森 英郎	片山 庄平	松岡 正敬	寺本 由美	柳川 平和	伊藤 勝也	安藤 邦晃	山下 裕矢	寺本 清春
議会運営委員会	○		○	副委員長	○	○	委員長				副議長	議長
総務建設常任委員会	副委員長				委員長		○	○	○	○	○	
教育民生常任委員会		○	委員長	○		○		副委員長				○
予算特別委員会	副委員長	○	○	委員長	○	○	○	○	○	○	○	
決算特別委員会	副委員長	○	○	委員長	○		○	○	○	○	○	
議会広報特別委員会	委員長	○		○			○	副委員長			○	
環境クリーンセンター		○						○	○			
朝明広域衛生組合	○		○									
三重郡老人福祉施設組合					○					○		
国民健康保険運営協議会委員				○			○					
監査委員						○						
都市計画審議会	○		○		○			○			○	○
下水道審議会	○		○		○							

お知らせ 令和3年 第2回 定例会予定

月	火	水	木	金	土	日
6/7	8 本会議 (開会)	9	10	11	12	13
14	15 総務建設 常任委員会 教育民生 常任委員会	16	17	18 本会議 (開会)	19	20

傍聴することで町政への知識を深め、町議会の活動方針を知ることができます。また、本会議当日は、役場1階ロビーのテレビにて、議会の模様をご覧いただけます。

町のホームページでは、過去の会議録(本会議のみ)が閲覧できます。

まちの元気な人



私たち健康かわごえ推進協議会委員は、「けんすいさん」の愛称で呼ばれており、各地区の区長から推薦を受けた35名が、町長からの委嘱を受けて活動を行っております。

「生活習慣病予防」と「がん検診の推進」という大きな2つのテーマを掲げて、町民一人

ひとりが自発的に健康の意識を高め、健康づくりに取り組めるよう元気な街づくりを目指しています。

具体的な活動は、各地区で「腰痛予防教室」や「体操教室」など健康教室を開催しています。年に10回ほど行われる定例会では、生活習慣病予防

に関する運動や栄養について、またメンタルヘルス（心のケア）に関することも積極的に学習できる機会を作り、委員の方々に對する研修も行っています。

昨年度はコロナ禍で残念ながら中止となりましたが、例年ふれあい祭りにブースを設け、「動脈硬化測定」や「肌年齢測定」、「骨密度測定」や「歯科健康チェック」などを実施しています。また、年に1回の視察研修も行っており、楽しみながら川越町のためになる情報を探し続けています。そして、行事や

イベントを通して、ご当地体操であります「かわごえキラキラ体操」の周知やがん検診のPRにも力を入れていきます。



このような活動を通じて健康づくり全般に関する取り組みを行っております。活動に興味のある方はぜひ各地区の区長または、いきいきセンター内の健康推進課にお声かけください。

最後になります。各地区で健康教室を実施する際は、皆様お誘い合わせでご参加いただきますようお願いいたします。

会長・小西 弘美(記)

町の話題 町制施行60年

川越村から町に移行し、あれから60年。大きな災害もなく、安心安全で豊かなまちづくりを目指し小さな町でありながら今や押しも押されぬでっかい志のあるわが町。

そんな今日この頃ではないでしょうか。60年という節目から歴史を少しひもといてみたいになりました。

この一年半前には伊勢湾台風による大きな被害に見舞われ、悲しみを背負いながらの復旧作業、当時は機械もなく人力による重労働だったでしょう。又行政としても財政難に苦労されたのではと察します。決して順風満帆の出とはいかなかったでしょう。そんな中、村から町へと移行する明るい話題

が後押しし、先人たちの努力によって少しずつ復旧、復興されての現状があります。先人の皆さんに感謝の限りです。町政になり大きな災害や大きな問題もなく穏やかな60年を過ごしてきました。先人から引き継いだ私たち、今

尚一層の努力を惜しむことなく発揮しつつ、この川越町を今後は若人に託しより良い町づくり「豊かで安心安全な川越町」を願わなければなりません。今後70年80年90年と節目を向かえての大きな節目100年、どんな川越町にな

なっている事やら興味津々です。残念ながら私は100周年を経験する事が出来ませんがあの世からそっと覗かせてもらいましょう。「若人よ、お願い

しますよ」最後に町制60年おめでとうございます。

片山庄平(記)



編集後記

コロナ禍から1年以上が経ち、まだまだ収束には程遠い現状ではありますが、高齢者の方々のワクチン接種も始まり、また、聖火リレーもスタートし東京オリンピック・パラリンピックも近づいてまいりました。

議会におきましても新しい役職も決まり新たな気持ちで頑張つてまいります。

議会だよりも昨年よりモニターの皆様へ、いただきました貴重なご意見・提案を活かし、益々、町民の皆さまに親しみ読んでいただける誌面づくりを心がけてまいります。

今後ともよろしく願ひします。

杉本 雅照(記)